

AKIRA WAKABAYASHI PIANO RECITAL

常人離れた技巧

オーケストラに匹敵する表現力。

世界に飛翔する

日本を代表する

ヴィルトゥオーゾ・ピアニスト。

若林 顕

AKIRA WAKABAYASHI PIANO RECITAL

ピアノ・リサイタル

シューマン:子供の情景 Op.15

ラヴェル:水の戯れ ホ長調

リスト:ペトルカのソネット 第104番～巡礼の年 第2年「イタリア」第5番

ショパン:マズルカ 第17番 変口短調 Op.24-4

ショパン:バラード 第1番 ト短調 Op.23

ムソルグスキー:組曲「展覧会の絵」

2024年5月5日(日・祝) 16:00開演(15:30開場) 指定席 一般 3,500円 学生(対象:小学生以上25才以下の学生) 2,100円
ハーフ60(後半のみ観覧の当日券)

チケットのお求めは

1月7日(日)
10時より販売開始

- 宗次ホールチケットセンター TEL:052(265)1718 [店頭販売は発売翌日から開始]
- チケットぴあ WEB購入=<https://t.pia.jp/> 店頭購入=セブンイレブン
- 名鉄ホールチケットセンター TEL:052(561)7755

くらしの中にクラシック
宗次ホール
Munetsugu Hall

名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
営業時間:10:00～16:00 不定休
(終了時間は17:00もしくは18:00の場合有)

※「学生券」、「ハーフ60」は、宗次ホールチケットセンターのみで取扱い※やむをえず、曲目などに変更がある場合がございます。
※未就学児のご入場は、ご遠慮ください。※団体のお客様の為に席の一部を確保させていただく場合がございます。

AKIRA WAKABAYASHI

ピアノ 若林 顕



©Burkhard Scheibe

20歳で第37回ブゾーニ国際ピアノ・コンクール第2位、22歳でエリザベート王妃国際コンクール第2位の快挙を果たし、一躍脚光を浴びた。その後国内外の多数のオーケストラとの共演や国内外でのソロ・リサイタル等、多忙な演奏活動を展開し、現在に至るまで常に第一線で活躍し続けている。

東京藝術大学で田村宏氏に、ザルツブルク・モーツァルテウム音楽院、ベルリン芸術大学でハンス・ライグラフ氏に学ぶ。

第3回出光音楽賞、第10回モービル音楽賞奨励賞、第6回ホテルオークラ賞受賞。

2002年にニューヨーク・カーネギーホール(ワイル・リサイタル・ホール)で鮮烈なりサイタル・デビューを果たし、カナダ・トロントの「ミュージック・トロント・チェンバー・ミュージック・シリーズ」やシカゴの「マイラ・ヘス＝リサイタル・シリーズ」で大成功を収めて再招聘されるほか、フランス・ナントでの音楽祭「ラ・フォル・ジュルネ」、ストックホルムの「アモリナ・リサイタル・シリーズ」などにも出演。また、英国マンチェスターの「ノーザン・カレッジ・オブ・ミュージック」でのマスタークラス、フランス・ティエヌの「ミュージック・アルプ」Music Alp等、活動領域を着実に拡大している。

共演したオーケストラは、NHK交響楽団をはじめとする国内の主要なオーケストラのほか、ベルリン交響楽団、サンクトペテルブルク交響楽団、ロシア・ナショナル管弦楽団、エーテボリ交響楽団、ノールショピング交響楽団、リンブルク交響楽団、パドゥルー管弦楽団、スコットランド室内管弦楽団といった海外の名門オーケストラも多数。ゲンナジー・ロジェストヴェンスキー、ゲルト・アルブレヒト、アレクサンドル・ラザレフ、ダニエル・ハーディング、オスモ・ヴァンスカ、ウラディーミル・スピヴァコフ、ゲルハルト・ボッセ、ヘルムート・ヘンヒェンといった名指揮者とも数多く共演している。

室内楽の分野では、カルミナ弦楽四重奏団、ライブツィヒ弦楽四重奏団、ウィーン八重奏団、コリア・ブラッハー、スティーヴン・イッサーリス、カール・ライスター、フランソワ・ルルー、ラデク・バボラクなど、内外の名手達と数多く共演し、好評を博している。また、近年はヴァイオリニスト鈴木理恵子とのデュオで、作品の本質に迫る深い音楽性が各地で非常に高い評価を受けている。

レコーディングではこれまでに多数のソロ・アルバムをリリース。2013年以降続々とリリースされた、「ラフマニノフ:ピアノ・ソナタ第2番、前奏曲」、「ベートーヴェン:3大ピアノ・ソナタ」、「チャイコフスキー:くるみ割り人形(ピアノ独奏版・世界初録音)」、「リスト:ピアノ作品集」、「チャイコフスキー:ピアノ協奏曲第1番(ラザレフ指揮日本フィルとのライブ)」、「ショパン:エチュード全集」は全てレコード芸術・特選盤となり、極めて高い評価を受け続けている。

2018年リリースの「ショパン:エチュード全集」では、レコード芸術で「これは超弩級の形容がふさわしい、稀に聴くほどの名演譜である…詩人ショパンの微笑が、難技巧を超えて輝く名演…これを待っていた、」(濱田滋郎氏推薦)、「1音の存在感、鉄壁の技術と洗練された音楽性…唯一無二の音楽が響いている。知情意の均衡のとれた名演である」(那須田務氏推薦)と評された。

また、2014年以降リリースされた鈴木理恵子とのデュオによるCDも「シューベルト:ヴァイオリン・ソナタ集Vol.1」、「レスピーギ&フランク:ヴァイオリン・ソナタ」(いずれもレコード芸術特選盤)、「モーツァルト:ヴァイオリン・ソナタ集Vol.2、Vol.3」(いずれもレコード芸術特選盤)、と常に高い評価を受けている。

リサイタルにおいては2014年と2016年にサントリーホール(大ホール)でソロ・リサイタルを行い、「類のない高次元の名演」「圧巻のリサイタル」と評され大成功をおさめた。2020年11月には4年ぶりに東京芸術劇場コンサートホールでソロ・リサイタルを行い、「ポーニのショパン・エチュードのCD帯にあった『これ以上何がお望みですか』ではないが若林の技巧も然り。感服した」(「音楽の友」上田弘子氏)と評された。また、自身では3回目となる「ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ全曲シリーズ」を2017年に完結し、2018年より2022年まで行った「ショパン:ピアノ作品全曲シリーズ」ではピアノ協奏曲の五重奏版やチェロとの作品まで含む全15回にも及び高い評価と支持を得た。「エチュードOp. 10全12曲」を含むリサイタルでは、「完璧なエチュード・ヴィルトゥオーゾ・ピアニストの本領発揮」と大絶賛された。

2023年から東京芸術劇場でリサイタル・シリーズを行っている。

宗次ホール オススメポイント盛りだくさん！

気軽に 思い立ったらいつでもどうぞ！
月間20公演以上開催。

気軽に お出掛けにも楽。近くて便利。

本格的 心地よい音響で生演奏を

本格的 演奏テクニックや息遣いが聞こえるほどの至近距離

身近に 大切な日に大切な人と。記念日に彩りをプラス

■地下鉄栄駅⑫番出口より東へ徒歩4分



くらしの中にクラシック



名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL https://munetsuguhall.com/
宗次ホールチケットセンター
営業時間:10:00~16:00 不定休
(終了時間は17:00もしくは18:00の場合有)